

国立大学改革強化推進事業

(項) 高等教育振興費

(目) 国立大学改革強化推進補助金

平成 24 年度予算額：13,833,000 千円（新規）

1. 目的

国際的な知の競争が激化する中で、世界の大学と対等に伍していくためには、特に国立大学改革を強化推進することで、将来を支える人材の育成や我が国の国際競争力の強化にも寄与。

2. 対象

国立大学改革を強化推進するため、例えば以下のような取組をこれまでにない深度と速度で行う国立大学法人に対し重点的支援を実施。

(取組例)

教育の質保証と個性・特色の明確化

- ◆教員審査を伴う学部・研究科の改組
- ◆外国人や実務家等の教員や役員への登用拡大
- ◆双方向の留学拡大のための抜本的制度改革

(支援のイメージ)

新たな教育研究組織の整備に必要となる基盤の整備と海外や産官学との人的連携強化を抜本的に推進する経費を総合的に支援。

大学間連携の推進

- ◆互いの強みを活かした学部・研究科の共同設置
- ◆地域の大学群の連合・連携
- ◆大学の枠を超えた大学間連携による教育研究の活性化

(支援のイメージ)

新たに大学間連携を行うために必要となる基盤の整備（遠隔教育システムなど）と連携による教育研究の展開に必要な経費（連携により必要となる学生・教職員への支援を含む）を総合的に支援。

大学運営の高度化

- ◆効率的な大学運営のための事務処理等の共同化
- ◆大学情報の一元管理と適正な活用による運営体制の強化

(支援のイメージ)

事務システムの統合等による改修、インターフェイス化など、連携による高度な大学運営に必要な経費を総合的に支援。

3. 本補助金の効果

- ・組織改組の構想段階からの支援が可能となることで大学改革のスピード感が加速。
- ・本事業の実施に当たり、中期目標・中期計画の変更を課すことで、大学改革の達成目標・達成時期が明確化。

4. 補助率 定額

平成24年度 国立大学改革強化推進事業 選定事業一覧

実施大学等		事業名	取組内容	
1	北海道大学	北海道教育大学、室蘭工業大学、小樽商科大学、帯広畜産大学、旭川医科大学、北見工業大学	北海道内国立大学の機能強化について～北大を拠点とする連携体制の構築～	資源を効果的・効率的に活用する観点から、教養教育、入学前留学生教育、事務処理等を大学の枠を超えて共同実施し、相乗効果により各大学単体で実施するより質・量ともに充実。
2	帯広畜産大学	北海道大学、山口大学、鹿児島大学	国立獣医系4大学群による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築	既存の大学の壁を打破し、獣医学教育の伝統を基にさらなる機能強化を図るべく、アジア初の欧米水準の獣医学教育の実現により、アジアにおける中核スクールを創出。
3	秋田大学		国際的資源学の世界的教育拠点形成及び次世代型学部運営の体現	国内で唯一、資源探査、開発から環境保全まで一貫した教育研究活動を実施してきた実績を基に、将来の資源・エネルギー戦略を担う即戦力として資源系の企業・商社・政府機関等の多様な分野で活躍できる人材を育成。
4	福島大学	筑波大学、広島大学、長崎大学、東京海洋大学、(放射線医学総合研究所、福島県立医科大学)	環境放射能の動態と影響を解明する先端研究拠点の整備	温帯多雨地域として世界で初めて原発事故の影響を受けた地域に立地する国立大学として、環境放射能の動態と長期的影響の解明に取り組む。海外の研究機関からの外国人研究者も参加し、環境放射能に関する学術研究を新たに確立する。
5	筑波大学	鹿屋体育大学、(日本スポーツ振興センター)	筑波大学と鹿屋体育大学の連携による体育・スポーツにおける共同専攻の設置	スポーツ医科学分野等での実績を有する大学と唯一の国立体育大学が、共同で大学院を設置。国際競技力向上やスポーツ医科学などに関する世界水準の幅広い教育を展開し、世界で通用する体育・スポーツ指導者を養成する。
6	東京学芸大学	北海道教育大学、愛知教育大学、大阪教育大学	大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築～教員養成ルネッサンス・HATOプロジェクト～	教員養成単科大学が組織を超えて連携し、師範学校以来の教員養成機能の深化を図るとともに、新たな教員養成プログラムの開発等を行い、全国の教員養成系大学・学部へ展開し、また諸問題を協働で解決、支援できる体制を構築。
7	長岡技術科学大学	豊橋技術科学大学、(国立高等専門学校機構)	三機関(長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、国立高等専門学校機構)が連携・協働した教育改革～世界で活躍し、イノベーションを起こす実践的技術者の育成～	高専と連携した教育機能を更に深化させ、三機関の豊富な国際連携活動、地域に根ざした産学官連携の強みを活かしたキャンパスネットワークを構築し、さらに海外共同キャンパスの設置、共同教育コースの開設により、世界で活躍し、イノベーションを起こす実践的技術者育成を実現。
8	金沢大学	千葉大学、長崎大学	真の疾患予防を目指したスーパー予防医科学に関する3大学(千葉・金沢・長崎)革新予防医科学共同大学院の設置	得意分野を活かして複数の大学が連携協力し、国内最高水準の研究者をそろえた予防医学分野の大学院を共同で設置。今後世界的教育研究拠点の形成を目指す。
9	名古屋大学	愛知教育大学、三重大学	アジアを中心とする国際人材育成と大学連携による国際化の加速度的推進	留学生の派遣・受け入れで実績を有する大学を中心に地域の複数の大学がスクラムを組み、従来にない規模の幅広い日本人学生の派遣(年間1,200人)、留学生の受け入れ(年間3,600人)に取り組む。
10	京都大学		グローバル化に対応した教学マネジメントのための組織改革～国際高等教育院(仮称)の設置及び学部等のグローバル化の推進～	大学教育の国際化のため、世界の大学や外国人研究者との強固なコネクションを活かし、100人規模の外国人教員を新規採用、教養科目の半分以上を英語で講義する事を目指し、グローバル化に対応した教学マネジメントを実現。
11	大阪大学		研究型大学のガバナンス改革実行プラン～「大学の中の大学」構想～	生命科学、認知工学等の世界的な分野を伸ばすため、既存の学部の壁を超えて重点支援体制を確立。世界と戦うための学長トップマネジメントシステムを導入。
12	奈良教育大学	京都教育大学、大阪教育大学	「学び続ける教員」のための教員養成・研修高度化事業～京阪奈三教育大学連携による教員養成イノベーションの創生～	教員養成単科大学が組織を超えて連携し、これまで培ってきた強みや特色を相互に活かし、資源の相互活用を図りながら京阪奈地域の教育課題に対応した三地域の連携による教員養成体制を構築。
13	徳島大学	鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学	四国5大学連携による知のプラットフォーム形成事業	資源を効果的・効率的に活用する観点から、AO入試、教養教育、産学連携等を大学の枠を超えて共同実施し、相乗効果により各大学単体で実施するより質・量ともに充実。
14	九州大学		基幹教育の構築による新たな学士課程教育モデルの提起	学士課程教育を魅力あるものにするために、専任教員として30人規模の外国人教員を採用し、国際社会で活躍できる人材を育成。

※実施大学等の下線が代表大学を表す

国立大学改革強化推進事業による大学改革の取組み

国際的な知の競争が激化する中で、大学の枠を超えた連携の推進や個性・特色の明確化などを通じた国立大学の改革強化を推進することが必要。このため、具体的な事業計画に基づき、これまでにない深度と速度で取り組む国立大学法人に対し重点的支援を実施。

国立大学改革の視点

①学長のトップマネジメントによる組織運営システム改革

②世界に知的存在感を示すための理工系人材の育成・研究力強化

③大学や学部の枠を超えて地域連携による機能強化

④大学の強み・特色を活かした機能連携・強化

各大学の特色・強みの更なる伸長、明確化 国立大学の抜本的機能強化

大阪大学 生命科学^(注1)、認知工学^(注2)等の世界的な分野を伸ばすため、**既存の学部の壁を超えて重点支援体制を確立**。世界と戦うための**学長トップマネジメントシステム**を導入。

(注1)化学・構造生物学・薬学・医学に立脚した、化合物探索から治験までの総合的研究を展開
(注2)コミュニケーションが困難な場面にロボットを導入し、問題の解決・緩和を行うなど、脳機能の理解に基づく情報・機械システムを創製

京都大学 大学教育の国際化のため、世界の大学や外国人研究者との強固なコネクションを活かし、**100人規模の外国人教員を新規採用**、教養科目の半分以上を英語で講義することを目指し、グローバル化に対応した教学マネジメントを実現。など

北海道大学 資源を効果的・効率的に活用する観点から、教養教育、入学前留学生教育、事務処理等を**大学の枠を超えて共同実施**し、相乗効果により各大学単体で実施するより質・量ともに充実。

名古屋大学 留学生の派遣・受け入れで実績を有する大学を中心に**地域の複数の大学がスクラムを組み**、**従来にない規模の幅広い日本人学生の派遣**（年間1,200人）、**留学生の受け入れ**（年間3,600人）に取り組む。など

金沢大学 得意分野を活かして複数の大学が連携協力し、国内最高水準の研究者をそろえた**予防医学分野**^(注3)**の大学院を共同で設置**。
千葉大学
長崎大学 今後**世界的教育研究拠点の形成**を目指す。

(注3)疾病の予防を行うことや、病気になりにくい心身の健康増進を図るための学問

秋田大学 国内で唯一、資源探査、開発から環境保全まで一貫した教育研究活動を実施してきた実績を基に、**将来の資源・エネルギー戦略を担う即戦力として資源系の企業・商社・政府機関等の多様な分野で活躍できる人材を育成**。など

筑波大学 スポーツ医科学分野等での実績を有する大学と
鹿屋体育大学 唯一の国立体育大学が、**共同で大学院を設置**。国際競技力向上やスポーツ医科学などに関する**世界水準の幅広い教育を展開**し、世界で通用する体育・スポーツ指導者を養成する。

帯広畜産大学 既存の大学の壁を打破し、獣医学教育の伝統を基にさらなる機能強化を図るべく、
北海道大学 **アジア初の欧米水準の獣医学教育**の実現により、
山口大学 **アジアにおける中核スクールを創出**。など
鹿児島大学

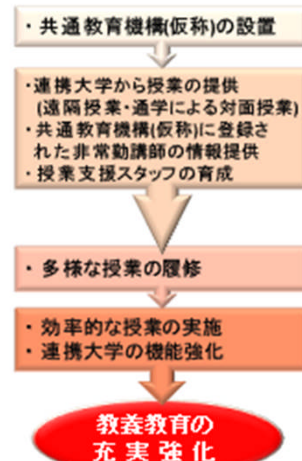
今後、大学・学部の枠を超えた連携の新たな形成や更なる深化、学内部局の枠を超えた人員の再配置・資金の再配分、人事・給与システムの見直し等のシステム改革を促進する取組を支援。

北海道内国立大学の機能強化について ～ 北大を拠点とする連携体制の構築 ～

1. 道内国立大学の教養教育連携実施

北海道内の国立大学が連携を図り、遠隔授業や単位互換制度を利用し、道内国立大学等の学生が受講可能な新たな仕組みを構築し、教養教育の充実強化を図る。

遠隔授業を活用した大学間連携



実施体制図



2. 学部・大学院入学前留学生教育の充実による国際化の推進

道内国立大学の学部及び大学院課程に進学予定の学生を対象に、北海道大学に設置する入学前準備教育プログラムにおいて、正規課程進学後に必要となる日本語力、異文化対応力、研究者倫理などの教育と、正規課程進学先の大学で提供する研究分野の特性に応じた教育を融合させることで、円滑な正規課程での学習への移行を目指す。

入学前教育プログラム実施協定

プログラム統括: 北海道大学国際本部長(国際担当副学長)

参加校・北大間の連絡調整

連絡調整委員会@北大国際本部

- 任務:
- カリキュラムの策定
 - プログラム履修者の決定
 - プログラム実施状況のモニタリング等
- 組織:
- 委員長: 北大国際本部留学生センター長(教務担当)
 - 委員: 参加各大学各1名(留学生教育担当者)
 - 幹事: プログラムコーディネーター(教務担当)

教育プログラムの企画・実施

北海道大学国際本部留学生センター

- カリキュラムの企画・立案
- 教材開発
- 教育プログラムの実施
- ティーチングスタッフ確保

プログラムコーディネーター

プログラム参加校

北海道大学
北海道教育大学
室蘭工業大学
小樽商科大学
帯広畜産大学
旭川医科大学
北見工業大学

- 履修希望者の推薦
- 調整委員会委員の派遣
- 推薦した修了生の正規課程への受入れ

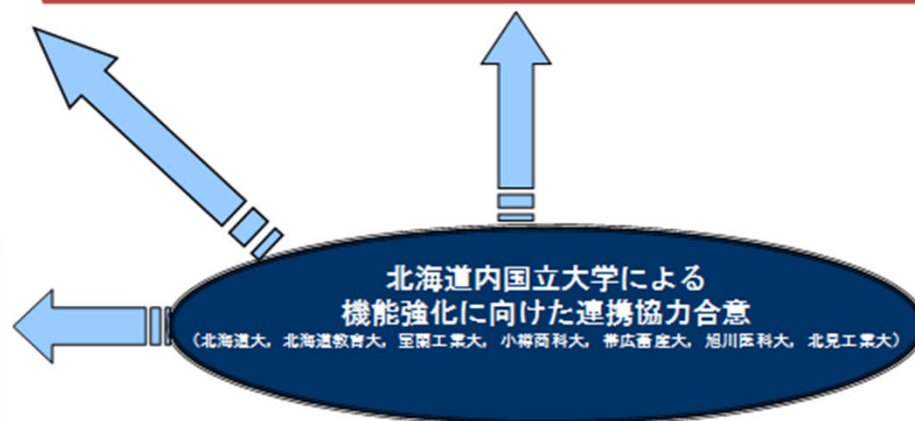
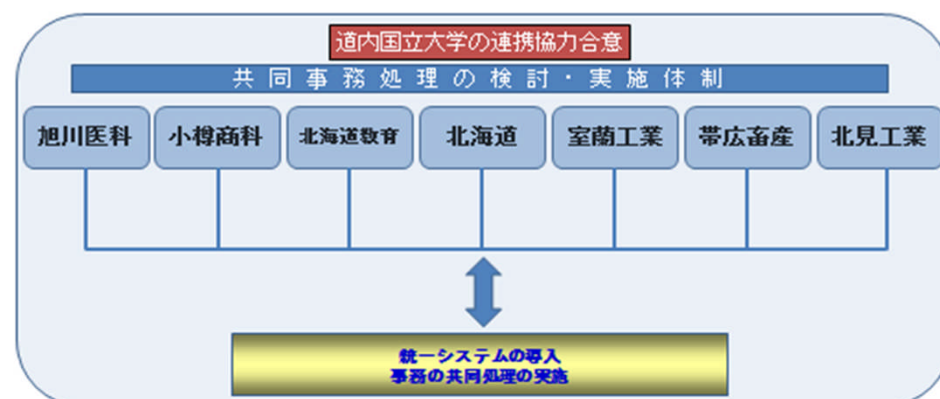
事務体制

北海道大学国際本部
国際連携課・国際支援課

- 庶務事務
- 会計事務
- 学務事務

3. 道内国立大学の事務の共同処理の推進

北海道内の国立大学が連携して、システムの共同調達を行うなどの事務の共同処理を実施。



国立獣医系4大学群による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築

亜熱帯・温帯地域
教育拠点

共同獣医学部

- 伴侶動物臨床・動物医療センター
- 中高温微生物研究センター
- 応用獣医科学教育研究センター

山口大学

伴侶動物臨床・公衆衛生分野強化

連携強化
機能分化

鹿児島大学

- 産業動物臨床フィールド
- 軽種馬診療センター
- 越境性動物疾病制御研究センター

産業動物臨床・家畜衛生分野強化

日本の獣医学教育改革を先導

他の獣医系大学

4大学連携

- 欧米認証評価
- アドバンスト教育
- 教育コンテンツの共有
- 地域特性を踏まえた実習プログラムの構築
- 実地実習拠点の構築

- 欧米評価組織の調査
- 認証情報の精査・解析
- 認証情報の配信
- 欧米教員の招聘

寒冷地域
教育拠点

共同獣医学課程

- 伴侶動物臨床・動物医療センター
- 人獣共通感染症リサーチセンター
[共同利用・研究拠点]
[WHO指定研究センター]
[OIE指定ラボ]

北海道大学

伴侶動物臨床・ライフサイエンス分野強化

連携強化
機能分化

帯広畜産大学

産業動物臨床・公衆衛生分野強化

- 産業動物臨床フィールド
- 原虫病研究センター
[共同利用・研究拠点]
[OIE指定]ラボレーティングセンター]

国際認証推進室
(帯広畜産大学に設置)

欧米認証を確実に取得するためのアプローチ

防疫需要

- 人獣共通感染症(鳥インフルエンザ等)や動物疾病(口蹄疫等)の拡大
- 新興/再興感染症の出現(エボラ出血熱等)

獣医療の高度化

- 小動物医療の先端化・細分化
- 大動物の予防医療の高度化

国際獣疫事務局 (OIE)

- 動物由来の感染症制御
- 家畜防疫や衛生検査の獣医公衆衛生強化
- 動物の適正管理と福祉
- 上記の教育カリキュラムを提示

国際水準化

- 獣医学教育の国際水準化は欧米豪が先導(中国・韓国も進行中)日本は取り残されつつある

輸入検疫

- 食品の輸出入の拡大など防疫重要(BSE・残留農薬・食中毒・遺伝子組換え食品等)の増大